

【被害生徒の訴えです】

中学校に入学して間もなく国語の教師からセクハラ行為が続き、ストレスから吃音が出現した。すると教師が吃音を笑い真似し始めた。

教師が『音読誰がいい?』と言えば、クラスメイトが僕の名前を言いながら手拍子を始める。『●●いけ!』と囁き立てられる。教師はいつも僕に音読させ吃音の随伴症状である体を動かさないと話せなくなっても、音読を指名し、笑い、真似する行為は続いた。

中2の9月にはクラスメイトの前で吃音の真似をして僕の感想文を読んだ。中1の時から担任に何度も相談していたが、放置していた事をこの時知った。

中3になり、1日も登校出来ない状況でも、訴えに真摯に向き合ってくれなかった。中1から担任に相談していたが放置。中2で起きた事も校長は隠蔽し、教師の声だけに耳を傾け、訓告処分していた。

生徒への聞き取り調査、いじめ防止対策推進法にあてはまる事を数え切れないと訴えたが、調査は拒否され続けた。足をシャーペンで刺されても「いじめではない」と、調査は拒否された。

教頭先生が卒業間近になり、強行突破で生徒の聞き取り調査をしてくれた。

当時は職員室でも僕の吃音を真似していた教師、それを笑う教師達、クラスメイトが憎くてたまらなかった。決して忘れる事はないが、裁判を通して一生懸命に行動する弁護士さん達の姿を見て、僕も自分で決断し、法廷で行動する事が出来た。

今思うのは、悪いのは大人、教師、校長などの格好悪い大人達だ。集団でしか行動出来ない校長、当時関わった市教委の様な大人にはなりたくない。

僕はまだ1人では外出できない。悔しいから前進したい。でも、頭でそう思っても、今は体が動かない。心が駄目になったら体は動かない。体が動かないと心も動かない。

在籍中、教育長は全て経過を知っていると聞いていた。僕が何か悪い事をしましたか? 僕はどうすれば良かったのか教えて下さい、教育長。